

「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2024年1月23日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 長野県北安曇郡池田町池田 4371-1

団体名 実家の茶の間

代表者職氏名 代表 曾根原鈴美



「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

月と風の子ども基金

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

9.23 八幡神社おもてなし

子どもの焼きたこ焼きふるまい、おもてなしお祭りメニューの提供。

12.30 餅つき、鏡餅づくり

ただし、助成金はおかまの購入含む八幡社のおもてなし時に終了しました。

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

子どもの作ったたこ焼きは、形が崩れたり、中身が抜けたり、焦がしたり、大変でしたが、みんな粉を溶いたものを飛び散らしながら、わたしにもやらせてといいながらワイワイと作っていました。楽しんで作ってくれたと思います。また子どもの作ったその崩れたたこ焼きをおまけに付けたプロの腕によるお寿司を含む今年限りの豪華版メニュー提供に、特に一人暮らしの高齢の参加者は大喜びでした。

(様式第3号)

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

子どもたちの作ったふるまいのたこ焼きは、参加者への提供と合わせて歩行者天国の人にもふるまわれ、あっという間になりました。豪華なお祭りメニューの提供でいつもはお祭りのお祝いしない高齢者の方には久しぶりのお祭りを大いに楽しんでもいただきました。また恒例の餅つきも核家族化で季節の行事が失われつつある中、世代間交流で伝統の味杵つきの手作り餅を味わえました。いずれのイベントも参加者はじめスタッフも地域の皆さんにも楽しんでもいただいたこと、助成金のお陰と深く感謝しております。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）



子ども応援企画

主催 実家の茶の間
共催 信州子ども食堂ネットワーク
後援 池田町教育委員会

12月30日(土)餅つき 鏡餅づくり

力もち集まれ～！ 9時半～



からめ餅5種(あんこ、きな粉、ゴマ、手作り高瀬川由来野草納豆、おろし、海苔醤油)、ぜんざい、雑煮食べ放題です。

おなかすかして来てください！

お志 子ども200円おとな500円くらい

**2024年1月4日(木)書初め
10時～**

昼食 メニューは参加者の希望で決める

参加費 子ども200円 大人も200円



参加申し込み、お問合せは実家の茶の間 池田 4371-1
0261-85-2525 (FAX または留守電)
080-4687-4002 (曾根原)

参加者氏名・連絡先(電話・メール)をお知らせください。
こちらから確認のお電話差し上げます。

フェイスブックサイトへ QR コードを読み込んで
ご連絡いただいても結構です。
いずれの締め切りも 12月25日午前中

9月23日(土) 八幡神社例大祭



ふるまい
おもてなし



4年ぶりのお祭り。

県の元気づくり支援金を受けてトイレの自動水栓化を実施。
大町市出身の男性の方からの寄付により創設の「月と風の子
ども基金」でたこ焼き機械など購入して企画しました。寄付
者の想いを受け、これからも子どもたちに楽しい時間を提供
していきたいと思っています。

主催 実家の茶の間
共催 信州子ども食堂ネットワーク
後援 池田町教育委員会

子どもは 16~18 時希望の時間(延長可)

たこ焼きの作り手募集

22日(金) 4時ころから練習します。

22日(金)たこ焼き・23日(土)食事とも

子どもの参加費は無料です。

おとなは 交通規制のため

18時より前から20時半まで

お志 1,000円くらい(3,000円相当の 手作
りお祭りメニュー、ジュース等付き)

アルコール類はご自分でお持ちください。



←フェイスブックの
メッセージ欄からも
申し込みできます

〆きり20日(水) 申し込みは実家の茶の間 080-4687-4002(曾根原)0261-85-2525(留守電 Fax)

きりとり

参加者氏名	子どもは学年も	住所	電話	子どもの参加時間
				()時~
				()時~
				()時~
				()時~
				()時~

餅つき「よいしょ」町中に声

※「実家の茶の間」子ども企画

餅つきは、正月の行事の一つで、家族で参加し、お餅をついて食べるのが、昔ながらの風習です。今年も、町中に餅つきの声があふきました。

餅つきは、正月の行事の一つで、家族で参加し、お餅をついて食べるのが、昔ながらの風習です。今年も、町中に餅つきの声があふきました。餅つきは、正月の行事の一つで、家族で参加し、お餅をついて食べるのが、昔ながらの風習です。今年も、町中に餅つきの声があふきました。



餅をつく子どもたち

餅つきは、正月の行事の一つで、家族で参加し、お餅をついて食べるのが、昔ながらの風習です。今年も、町中に餅つきの声があふきました。餅つきは、正月の行事の一つで、家族で参加し、お餅をついて食べるのが、昔ながらの風習です。今年も、町中に餅つきの声があふきました。









「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2023年8月16日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 大町市大町 2544 番地 4

団体名 特定非営利活動法人キッズウィル

代表者職氏名 代表理事 福島百子



「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

月と風の子ども基金

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

令和5年7月31日、キッズウィルの3つの事業所（遊学会、児童支援センター、キッズウィルガーデン）の利用者とスタッフ総勢107人で、国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）のデイキャンプ場をお借りしてバーベキューを行いました。子どもたちも分担して準備や片付けなどを行いました。バーベキューの前後は、公園内のアスレチック遊具や川遊びエリアなどで、思い切り体を使って遊びました。

公園までの移動には、市内の運送業者からバスを借り上げ利用しました。

【参考ブログ】<https://kidswill.net/blog/bbq-1.html>

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

障害や貧困等の理由で屋外体験を行うことが難しい家庭もあり、寂しく、また、悔しい思いをしている子どもが何人か見受けられたため、当法人の夏休みの事業として子どもたちの思い出に残るような屋外体験活動に取り組みました。大勢の仲間たちとおいしく食事をいただき、また、楽しい時間を過ごすことができ、達成感や自己肯定感に満ちた事業となりました。バーベキューの取り分けでは、順番や思いやりなどの社会的なルールも学びました。

バスについては、日頃乗る機会が少ないため、乗降時に運転手さんに挨拶することなど、貴重な体験ができました。

(様式第3号)

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

この度は、子どもたちの発達を支援する事業に助成を賜り、ありがとうございました。

キッズウィルでは、本来少年期に体得すべき貴重な体験が障害や貧困等の理由で得られないことのないようにしたいとの思いから、3事業所合同のバーベキューを行うこととしました。活動の場所には、地元にある国営公園の施設を選びました。当日は、子どもたちの大きな声が公園内に響き渡っておりました。微力ながら、月と風の子ども基金の趣旨である、「子どもたちの笑顔があふれる北アルプスの里」の実現の一助になったのではないかと考えます。

国営公園で過ごした夏休みの一日が、いつまでも子どもたちの思い出に残ることを期待し、貴基金への報告と御礼に代えさせていただきます。ありがとうございました。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

実施写真



先発隊によるBBQ
準備

撮影日 2023. 7. 31
(以下同じ)



バス移動風景



バス移動隊到着



みんなで会食



みんなで会食



デザートのマシュマロは自分たちで焼きました



アスレチック遊具での
遊び



同上



スプラッシュリバー
での水遊び



スプラッシュリバー
での水遊び



帰りの前に周りのゴミの
片付け作業



帰路風景

「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2024年 8月 31日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 北安曇郡松川村6-3

団体名 松川こどもカフェボランティア会

代表者職氏名 三 崎 裕 子



「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

月と風の子ども基金

2. 助成金活動内容（この事業で具体的にやったこと）

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 防災食 | 2. ハロウィンパーティー |
| 3. クリスマス | 4. 餅つき、正月遊び |
| 5. 春待ちコンサート | 6. 工作（まんだら作り） |
| 7. 夏まつり | 8. 料理教室 |

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

こどもカフェも地域に浸透し、多くに方々が楽しく持ち帰ってくださっていて嬉しく思っています。スタッフもただ食事を提供するだけでなく、誰でも安心して参加でき、食や様々な催しを通して地域との深まりを感じていただけたらと日々思考錯誤しています。物価も高騰し村社協からの補助金・参加費（大人のみ）、また地域の方々からの食料の寄付だけでは非常に厳しいものがあります。貴団体からの助成金のおかげで、食卓がより豊かになっただけでなく、季節の行事や地域の方々にご協力いただいた催し物、子どもたちが大好きな工作など実施することが出来ました。子ども達からも「こどもカフェ最高!!」という声や保護者の方たちからも安心で自分たちにとっても素敵な居場所になっているとお声をいただいています。運営側からも全てボランティアで行っており、資金は全ての基になっているので大変感謝しております。

(様式第3号)

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

感謝の気持ちで一杯です。

ご寄付のおかげで食事だけでなく、様々な催しを行うことができ、子ども達からも「こどもカフェ最高!!」と声をもらいました。

大切にに使わせていただき、より充実したこどもカフェの運営ができるよう努力していきたいと思います。

本当にありがとうございました。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

(1) 収支報告書（様式第3-1号）

(2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）

(3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）

(4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）













今日のメニュー

Ⅱ防災食Ⅱ

おにぎり



たらこ白子煮

おかか梅
ゆかり

他

さば缶汁



春雨の牛肉

大和煮風

切り干大根と



ささみのマヨサラ

ナスのつけもの

キャベツとしその実の

つけもの

バナナとりんごの

ぽとんむしケーキ

本日

プラ板

づくり

10/21 ハロウィン

楽しゲーム
仮装して来てね

参加受付中

10/7

さつま芋ごはん
豚汁

他

自由





「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2024年 8月 15日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 大町市美麻8766-B

団体名 みあさの森

代表者職氏名 根本 薫



「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

月と風の子ども基金

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

2023.9 同地域内に住むこどもたちの祖父の年代である竹の専門家に指導をお願いして、竹伐採からジャングルジムとドーム作製までを参加親子で行なった。

また冬の間こどもたちの中でどんな遊具があったらいいか、そのためにはどうしたらいいか。という中で発案されたジップラインづくりと、今までの遊具であるツリーハウス、秋に作った遊具のメンテナンスも

2024.7 再度専門家をお呼びしながら集まって、新しい遊具づくりおよびメンテナンスを行なった。

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

こどもたちにとっては祖父世代である講師から、地域では邪魔になっている竹の伐採方法、地域木材とともに、それらをビスや釘を使わない昔ながらの方法を学びながら自分たちの遊ぶ遊具を作ることができた。

また、こどもたちのこの遊具がここにあったらいいな、というやりたいを形にすることができた。

作りっぱなしではなく、それをメンテナンスするところまでご支援いただけたことで、実際に使ったの評価修正やより安全でより愛着の湧く遊具になった。

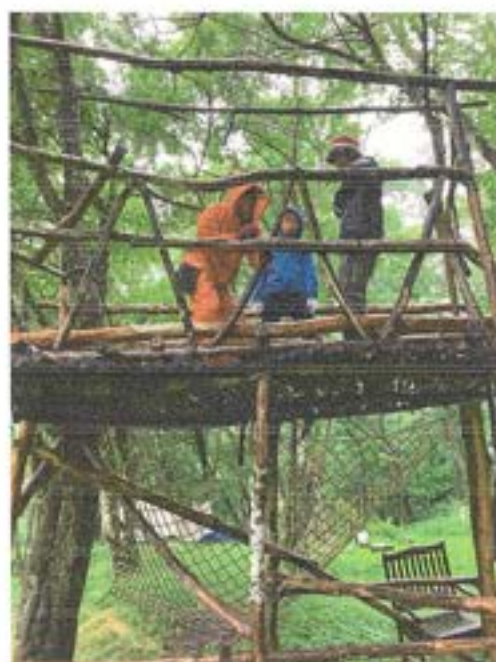
実際、この遊具を作ったのは僕だ！と後日親たちに得意げに話すこどもたちもいて、この地への愛情が残る体験になった。

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

私たちにとっても、こどもたちにとっても非常に貴重な体験ができました。
買えば与えられることが当たり前の世の中で、この体験により自分たちで作り出すことのできる達成感は何にも変えがたい宝物になったに違いありません。
1年間の実施期間の中で、作成から評価をしたり修正をしたり
ということができたことも本当に有意義な期間でした。
この地域は都会に出て行ってしまう若者が多く、人口減少が問題となっていますが、
一度出て行ってしまったとしても、自分が育った環境や作った遊具をみに、自分のこどもたちを遊ばせたいと帰ってきたいと思ってもらえる場所になれば幸いです。
これからも遊具をメンテナンスしながらこどもたちの思いも大切にしていきたいと思っています。
本当にありがとうございました。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）



2024.7 遊具メンテナンス



2023.9 遊具づくり



ジップライン作製

「テーマは人生のよう」。

「昨年とは演奏時間の短縮などがあったが、今年はコロナ禍前と変わらないスタイルで、吹奏楽の魅力をつたふり

黄金色の稲穂に感動する児童

た。春に植えた苗が育ってすっきりとした重みの稲穂になったことに喜びを感じながら、保護者や地域住民も一緒に収穫作業に汗を流した。

も見られ「あのときも
う少し上手に植えてお
けば良かった」などの
反省の声も聞かれた。
刈り取った稲は大人
の手を借りて丁寧に束

親子で竹の秘密基地作り

大町市美麻・子どもカフェ「みあさの森」



ね、ブルのフェンスにかけて天日干しにした。今後は脱穀を繰で精米し、コ罗纳編で制限されていた収穫祭なども予定していく。体験した内川はな果さんは「手刈りは大変で、昔の人はすごい苦勞をしたと思った。収穫祭でおいしいお米を感謝して味わいたい」と話していた。

同校児童の米作りは

と届ける演奏会を企画した。楽しんでほしい。楽しんでほしい。

タリ、ヘアサロンホシ市、J.A.大北本所、随旅行セン

生より無業)

窓口販売は大町

大町市美麻大塩の「みあさの森」(根本 下)ム・秘密基地作り

毎年、次世代の子と私たちへの食農活動に力を入れて、J A 大北が全面的に支援。春に子もたちの希望でもち米の苗が提供され、協働で育ててきた。

勢える、重田穂積さん
「美麻」が、竹の組み方や割り方などを指導した。

大人たちが割った竹を組み上げ、ドームの形が出来上がり始める。

数、本紙の感謝を
「まじ」で
田町の塩原書店、市文
化会館で取り扱ってい
る。問い合わせは竹村
さん ☎070・449
2・7702まで。

子どもカフエ、みあさの森で竹の秘密基地作りが行われた

を行つた。市内外から10組の家族が参加し、森の一面に子どもたちが遊べる竹のドームとジャングルジムを作つた。森炊きのごはんや夏野菜のスープなどをともに食べて交流のひと時を楽しんだ。

たドームがさながら小屋のようになると子どもたちは、ドーム内に入り込むなどして楽し気に過ごしていた。

生坂村から参加した30代の4児の母親は「庭に子どもたちが秘密基地を作っている。

このイベントは子どもが友達に誘われて見つけてきて、2家族みんなで参加した。(竹のドームは家の庭にも作れそう)と話していた。

教える、重田穂積さん
 〓美麻〓が、竹の組み
 方や廻り方などを指導
 した。

大人たちが黙つた竹を組み上げ、ドームの形が出来上がり始める。と、それまで遊んでいた子ともたちが集まってきた。思い思いに笹竹の枝を竹の間に差し込み、骨組みだけだったドームがさながら小屋のようにになると子ともたちは、ドーム内に入り込むなどして楽し気に過ごしていた。

30代の4児の母親は「庭に子どもたちが秘密基地を作っている。」

奈良のあられの福袋

とまらへんわ

もち米商品一筋約70年、奈良の石井製菓さん。中でも人気の高い5種を詰め合わせました。国産もち米100%。風味を生かすためあっさり味、いくらでも食べられますよ。おすそ分けにも便利です。

20袋
セットだと
このボリューム

20袋セット
(5種類×4袋)

10袋セ
(5種類×2)

特別セット
送料無料

14,980円 (税込)

3,6

あっさりと香ばしさの共演!
ニード入サラダ

ニアド入サラダ

えびの旨味ギュツ!

えびマヨあられ

北海道産黒豆入り!

黒豆ちどり

上品な白濁油味

上品な白器油杯
昆布おかし

1. 壁のめくれと揚げ罫布

のあられと掛け昆
時をわす

飽きのこないおいしさで
20袋あっても楽々完食！
私のおすすめは黒豆ちどり！

5種類内容

味あわせ60g・昆布おかき・えび入サラダ・
黒豆お粥1茶碗5g・えびマヨネーズ60g

「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2024年 2月 19日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 大町市美麻 13951

団体名 新行地区子ども育成会

代表者職氏名 酒井一行



「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

月と風の子ども基金

2. 助成金活動内容（この事業で具体的にやったこと）

- | |
|--|
| 1、きのこ教室 本年はきのこの不作が懸念されたが前日の降雨により当日は予定よりきのこが多く採取でき、きのこ鍋ができてよかったです。
40名参加 |
| 2、3世代クリスマス会 盛りだくさんの事業を計画したので実施するのに大変苦労しました。現代の若者には聞きなれない、煙突パン・投げそば・そば薄焼き・ダンシングチキンなどありまた計画にはなかったコンサートが実施できた。
35名参加 |
| 3、小正月 稲の花・蘭玉・鳥追いをし、大町の「もんべの会」の民話も良かった。
時間的に杵つき餅は取り止め機械つきにしました。
40名参加 |

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

- きのこ教室 本年は雨が少なくきのこ不足で実施できるか心配になりきのこ名人に前もってある程度のキノコを採ってくるように頼む。しかし奇跡的に前々日に雨が降りましたので、きのこは豊富になり教室では老人クラブのキノコに詳しい人が案内人になってキノコの採取ができ親子と一緒にきのこ汁を作ることができ美味しく戴きました。
- 3世代クリスマス会、農園カフェラビットの児玉信子シェフによるダンシングチキン・

(様式第3号)

煙突パン・野菜の盛り合わせ。地区Pの親によるクリスマスケーキ。老人クラブの指導によりそば薄焼き・投じそばなどができる。歌手の後藤叶圭さんのコンサートが大変好評

3、小正月 老人クラブの婦人たちが大奮闘して蕪玉、稲の花づくりに前日から準備をしてくれたのでよくできました。鳥追いの事業は前もってみずぶさの木2本を切ってくれたので良くその木の一本を10cmくらいに切り鳥追いの杵を山仕事している人が上手に11個作ってくれた板は前もって大町の建具屋さんに作って戴きました。当初計画にはなかった大町の民話のもんぺの会の民話や紙芝居が良かった

資金が足りなかったので新行老人クラブから2万円の補助うける。

クリスマス会では大人1,000円子ども200円の会費29,000円

小正月では大人1,000円の会費27,000円合計76,000円

4 寄付者様へのご報告(メッセージ)

大変ありがとうございました。昔の歴史を子供たちに伝えなければと思い計画をしましたが逆に自分たちが良く覚えていなく色々な人に聴きながら実施をし良い勉強になりました。

多くの計画があったので報告書や計画書や集約が大変であった

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類(添付書類)

(1) 収支報告書(様式第3-1号)

(2) 収支報告書の証拠書類(領収書の写し等)

(3) 活動の実施風景写真(外部公開可能なもの)

(4) その他参考資料(事業の経過や成果を証するもの)

月と風の子ども未来基金 第一回行事

きのこ教室

10月1日 9時より

最近の人たちは、山に行く機会が少なくなりました。子供や親と山に行って、楽しみながらきのこ狩りをし、きのこの見分け方や、美味しいキノコ鍋を皆で楽しみたいと思います、老人クラブや多くの人の参加をお願いいたします。

日程 新行公民館 9時集合

9時30分 きのこ狩り出発

11時30分 新行公民館に帰る

きのこの鑑定し、美味しいきのこ鍋をつくる。

きのこ鍋を囲み交流会

終了 15時

参加者の申し込み 9月25日

地区PTA参加者のとりまとめ、きのこ鍋づくりの手伝い3名

新行老人クラブ きのこ狩りの指導員3名 鍋料理のお手伝い

新行地区子ども育成会班長はきのこ狩りの案内や鍋料理の手伝い



くろがしんかじゆり



ウツシメジ



取って来たキノコ



の
ほ
り
い
ろ
こ



サ
ン
ゴ
ハ
リ
タ
ケ



く
ろ
ホ
ニ
カ
ン
コ
ウ



金平のちまき



金平のりんご

Notes:

00001459

2024/01/22



塩原社長(右)と大久保社長



90年の歴史に幕

松本のマルマツが継

社長)が年内いっぱい、で、閉店する。昭和7(1932)年の創業以来、地域の文化振興を担ってきたが、後継者の不在などを背景に約90年の歴史に幕を下ろす。事業や従業員の雇用は松本市の教育機器販売マルマツが継承する。

塩原書店は塩原社長(81)の父・良三さんが上中町に開業。書籍

経営を縮小し、デリシア大町駅前店がデリシア移転に伴い閉店した後、外商中心の事業に転換していた。

を引き継ぎ大町営業所を開所。教科書の配達や図書館への本の販売など事業を行っていたが、後継者がお

マルマツの大久保哲社長は「教科書を取り扱う責任ある仕事。しっかりと引き継ぎたい。次代を担う子どもたちの教育の一助になれば」と話した。

世代超えきのこ採り

美麻新行名人の教室に親子連れ

大町市美麻新行公民館で1日、「きのこ教室」が開かれた。地域の親子など約30人が参加し、森山でのキノコ採りを行った。きのこの料理を味わって秋の一日を満喫した。災害用備蓄品の非常食「アルファ米」の試食体験も同時に開催した。

新行地区子ども育成会(酒井一行会長)、新行老人クラブ(種山博

のグループに分かれて山を歩いてキノコを探した。夏が暑く不作を予想していたが、この日は思いのほか豊作で、ハナヒラタケやセンボンシメジ、サクラシメジなどが採れた。公民館玄関前に戻った親子たちは「食べられそうなのキノコがたくさんあった!」「こっちは食べられる?」「とにぎやかな様子だった。大人たちも「これはたくさん出てるけど採ったことなかった」「このキノコはどう

やって食べるの?」など情報交換に花を咲かせていた。山の味覚の知識を教える親世代も減る中で、地域の伝統的な食文化や歴史を世代を超えて伝える場にとの願いが込められる。種山さんは「この山には山菜やキノコが豊富にある。山村の暮らしが楽しくなるような野山の食べ物や、地区の伝統の行事を子どもたちに伝える場に。活動を通じて交流の輪が広がれば」と話していた。



食べられるキノコの見分け方を教える種山さん(右)



公民館の裏山でキノコ採り

新行地区クリスマス会の開催案内

2023 年 12 月 23 日（土曜）12 時より

場所は新行公民館

本年も余すところ 1 ヶ月となりました。12 月は忘年会や・クリスマス会などが色々の場所で行われます。新行地区では、お年寄りや若い人、子供達と交わることがふだん在りません、今回子供みらい基金の助成があり地区の 3 世代のクリスマスコンサート会を開催いたしますので多くの参加をお願いいたします。

料理は、ラビットの児玉さんをお願いして、昔懐かしい煙突パン・鳥丸ごとのダンシングチキン・5 種類の大皿盛。

美麻ジビエの、おいしい「いのしし鍋」

小川村のあじさいのお焼き、

その他に、自分達で作るそばうすやき、投じそばなどがあります。

コンサートは後藤叶圭さん、大町市生まれの歌手です。名前を知らなくて 3000 曲近い CM ソングを歌っています。

代表曲には、ナショナル・カールの CM があります。子供たちに向けた楽しい歌声が聞けます。

大糸タイムス

2023年(令和5年)12月27日(水曜日)

ツリーを飾り付ける未満児クラスの表現あそび

キリスト生誕劇を演じる年長児たち



三世代で楽しく交流

三世代でクリスマス親睦 大町 美麻新行の育成会と自治会

大町市美麻新行公民館で23日、新行地区子ども育成会と自治会による「三世代クリスマス会」が開かれた。同じ地域に住んでいても、なかなか顔を合わせる機会のない大人や子どもたちが、地域の伝統食を味わい、気楽に話を弾ませながら、世代を超えた交流を楽しんだ。

クリスマスツリーや装飾で飾り付けられた会場はクリスマススムード一色に。料理は中山高原の「農園カフェラビット」のオーナーシェフ・児玉信子さんが、地場産素材をふんだんに使い「アイノシシの竜田揚げ」「ワカサギフリッター」、替懐かしい「煙突パン」、鶏丸ごとの「ダンシングチキン」などを作った。他に美麻ならではの「アイノシシ鍋」、そぼろの薄焼き、とうじそはなどなど、クリスマスにふさわしい華やかな料理がずらりと並んだ。

クリスマス会では大町市出身の歌手・後藤叶圭さんのコンサートが行われた。クリスマスソングや、千の風になって、「いのちの歌」など、心に染みる楽曲を次々に披露。参加者はおいしい料理を味わいながら、一緒に口ずさんだりして盛り上がった。

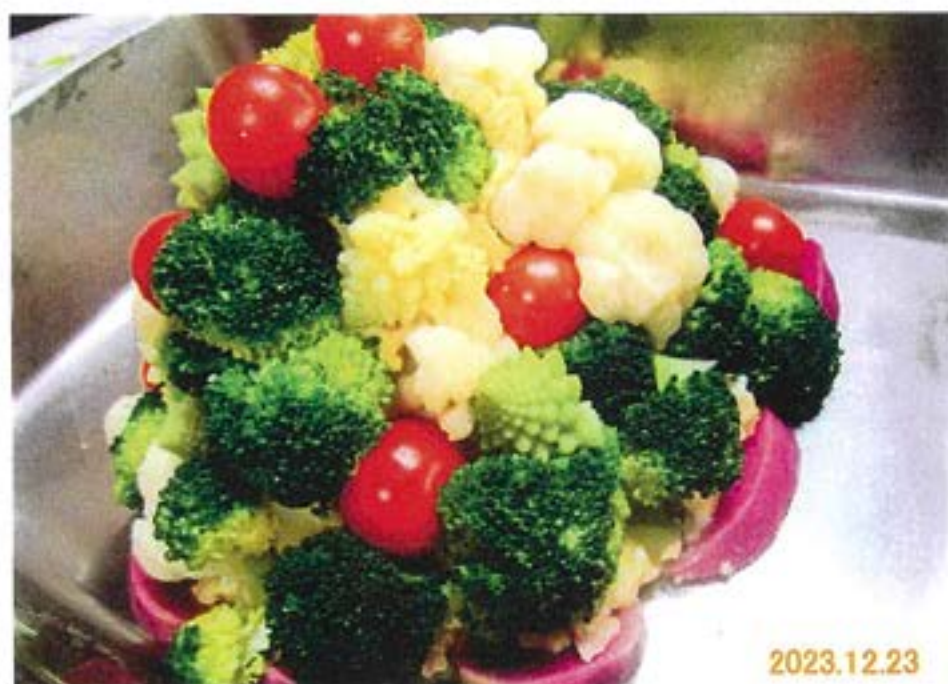
イベントは伝統行事に触れながら地域交流の輪を広げていくことを企画。同市出身の男性が、北アルプスの子どもたちに、安心と楽しさを届けるため草の根の取り組みを応援するため創設された「月と風の子ども基金」の助成を受けて開いた。新行地区子ども育成会の酒井一行さんは「三世代が交流できる機会がほとんどないのでとても貴重なイベント。互いのことを知り、交流が深まれば」と話していた。

後藤叶圭さんのコンサートも





クリスマスコンサート



クリスマスサラダ



クリスマスケーキ



お食事



お食事



お食事



後
龍
之
レ
ユ
ン
サ
ー
ト

第3回子ども基金行事案内

小正月行事

2024年2月4日(日) 10時から新行公民館

稲の花・繭玉・鳥追いの道具を作り。美味しい、雑煮・お餅・珍しいそば餅を腹いっぱい食べましょう。

小正月行事は春から秋にかけて農作物が豊作になるように願う地方の行事です。申し込みは1月25日(木)

参加材料費 大人1000円、稲の花・繭玉の持ち帰り

もんぺの会による…美麻の民話もあります。



今回が最後の行事になりますのでご協力をお願いします。

新行地区子ども育成会・新行地区PTA・新行自治会・新行地区老人クラブの共同事業

1. 準備 9時 老人クラブ 5名

地区PTA 4名

10時 集合

2. 挨拶 子供育成会会長 酒井一行

10時30分 餅つき

3. 稲の花づくり

4. 繭玉づくり

5. 鳥追いの道具づくり(板と小さい杵)

6. いただきます

7. 昔話

8. かたづけ

第3回子ども基金行事案内

小正月行事プログラム

2024年2月4日(日) 10時から新行公民館

用意 9時

受付 牧瀬 看板作り 根本 名札づくり種山真奈美

1、開会あいさつ 育成会会長 酒井一行さん

稲の花・指導 永沢美恵

蘭玉 指導 酒井美枝

手の空いている全員で作る

鳥追いの道具を作り。男の子・指導 松倉満男 松倉栄一

雑煮・お餅・酒井千里

そば餅 種山千恵子

お雑煮・そば餅の会食 和田自治会長

2、12時15分 もんぺの会による…

美麻の民話と腹話術。

3、13時30分 鳥追い

鳥追い 説明 松倉満男

4、14時 かたづけ

◎用意するもの

□大鍋 1 □ガスコンロ二重巻き □餅つ機 2台 □のし板・のし棒2本

白玉粉 もち米□米粉 □着色料 赤・黄ろい 青色 きな粉 すりごま

山忠

□稻の花用のみずぶさの木 1本 鳥追いの杵 8個 酒井一行さん

電動ドライバー ナイフ かなづ 小さいブルーシート

□鳥追い板地8枚 □山忠

□お玉、2 □ひしゃく 1 □紙コップ 50□箸 50

調味料 □味噌 □みりん □塩 □砂糖

野菜 □だいこん □人参 □こんにゃく □きのこ □ゴボウ 猪肉

養生テープ マジック ポスターの紙

アンプ マイク タイピンマイク 出し物のたれ目4枚

商店街新発見クイズラリー

「大町」

大町市の中
帯で11日、恒例
町あめ市」と
ま市」が開かれ
年は商店街にま
クイズに挑むワ
ングラリーを開
い物を楽しみな
りを散策する多
加者でにぎわっ
ラリーは大町
くり協議会が地
大町岳陽高校
とともに、商店
り上げようと企
加者に中央通り

三世代伝統つなぐ

大町 町 小正月に集い交流
美麻新行

大町市美麻新行公民館で4日、新行地区子ども育成会と自治会による「三世代小正月行事」が開かれた。小正月に飾る縁起物の「まゆ玉」作りや田畑の書鳥を追い払う「鳥追い」の風習を体験し、昔ながらの伝統行事に親しんだ。

幅広い世代の住民が多数参加。最初に全員で用意した大きなミズキの木に、真っ白な

幅広の世代の住民が多数参加。最初に全員で用意した大きなミズキの木に、真っ白な



三世代でまゆ玉作り

き入っていた。もんぺの会による、民話の読み聞かせも行われ、小正月にちなみ、雑煮やそばもちも振る舞われ、おいしく味わった。

イベントは同じ地域に住んでいても、なかなか顔を合わせる機会のない大人や子どもたちが、伝統行事に触れながら地域交流の輪を広げていこうと企画。同市出身の男性が、北アルプスの子どもたちに安心と楽しさを届けようと、草の根の取り組みを応援するため創設した「月と風の子ども基金」の助



小正月の風習を説明

お知らせ

おっさんの会
合唱参加者募集

大町で15日

大北地域や安曇野地域の男性有志でつくる「ゆるBASE ALPおっさんの会」は15日午後2時から大町市文化会館2階練習室で、「ALPおっさん歌おう会プロジェクト」を開く。地域の音楽振興で幅広く活動す

成を受けて開いた。今回で3回目となる。新行地区子ども育成会の酒井一行さんは「昔ながらの風習を知り、とても楽しく交流できた。つながりが続くようにしていきたい」と話していた。

る中村雅夫さんを講師に、童謡・唱歌・地域の歌、歌謡曲など多彩な楽曲の合唱を楽しむ。

本年度からは女性の参加も広く募り、偶数月を男女混声の活動日と定めた。現在、30人余りの参加があり、女性をはじめ多くの参加を呼び掛けている。

受け付けは1時半から。参加費800円。問い合わせは向井さん ☎070・84403・5487まで。

お供え用・法事用お花

旺時が



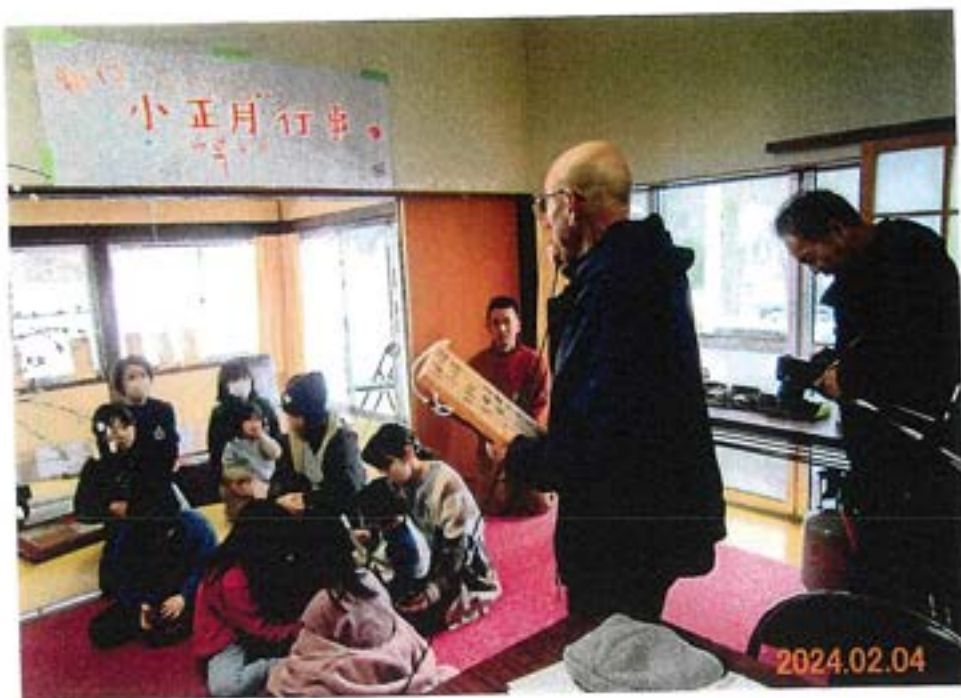
かんたん作り



まあるい
花のた



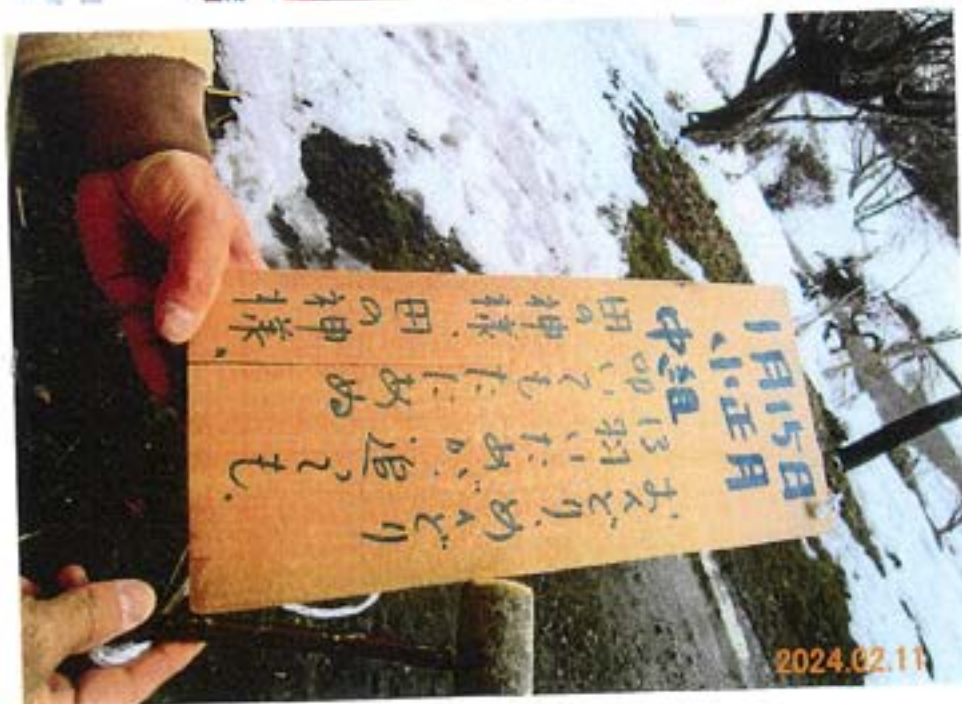
2024.02.04



鳥追り説明板設置済み



鳥追板作り





どなもち作り



コンタン会



鬼退治こいし3姉



大人から子ども



親と子供



子供



まゆ玉作り



コシカニ



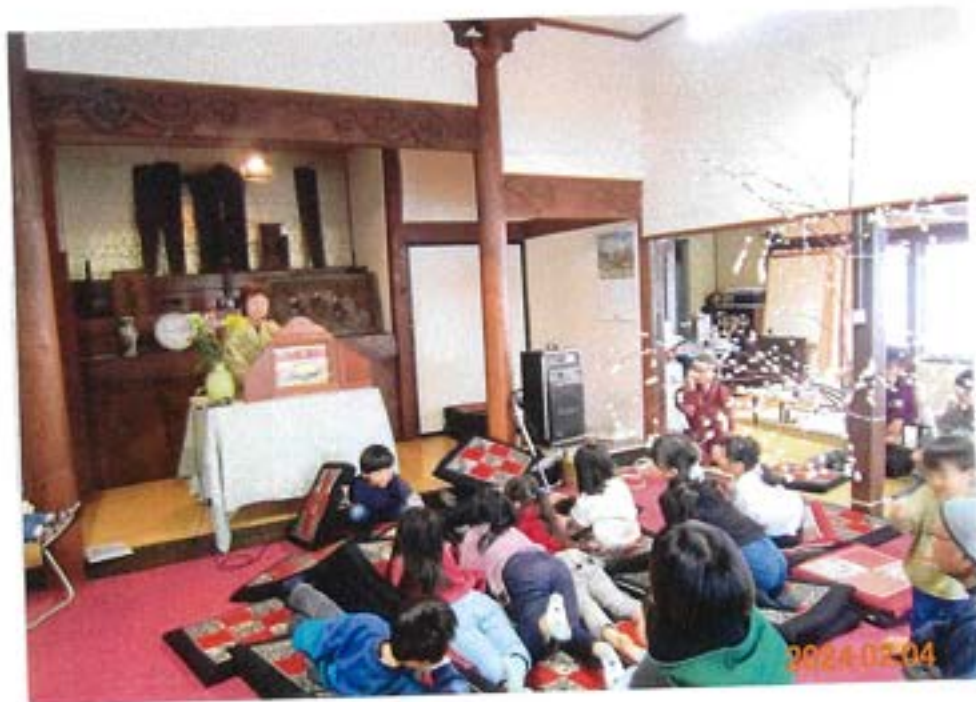
鳥造り



早稲土んぼ



中島さん 氏 話



丸山さん 氏 話

「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2024年 8月 30日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 小谷村千国乙11064-1

団体名 わくわくおたり

代表者職氏名 会長 北村 順二



「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

月と風の子ども基金

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

不登校の子どもたちが気兼ねなく行ける場所「いいどこ」を月1~2回実施している。現在、3名が利用している。

【準備】イメージをつかむため、富山県で活動をしているponteとやま（みやのもりカフェ）とひとのまへの視察を行い、活動の経緯や現状、課題となっていることや子どもたちの様子を見たうえで、「私たちができること、やること」を考え、かたち作った。いろんな問題がありながらも楽しんで運営している姿から、メンバーの機運が高まった。

【開設】9月から開始し、開催は基本的に平日の9時~15時まで。朝来て子どもたちはやりたいことをやり、お昼ご飯をみんなで食べ、午後も自由に過ごしお茶をして、帰宅している。

【開催場所】「月と風の子ども基金」申請時に想定していた場所をやめ、数年前まで自宅を宅老所として提供していた80代夫妻の、その自宅（元宅老所）を会場とした。夫妻も（自宅のため）毎回参加している。

【活動内容】子どもたちは1日自由に過ごしている。みんなで遊ぶ・お絵描き・工作・手品・マンガ・編み物・折り紙など。子どもにやりたいことを挙げてもらったり、楽しめそうなことを大人が企画するときもある。クレープ作り、うどん打ち、ピザ作り、クリスマス会&準備会、餅つき、お雛様寿司、オリジナル身体測定、一芸披露、体育館やプール遊び、動物園へ家族でお出かけなど。当初想定していた子どもたちが主体的に企画していくようにはなかったが、子どもの年齢や雰囲気、参加人数などで、自然に変化していくと感じている。

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

月に1回（たまに2回）の開催で3名が来ている。子どもたちは普段は家にいることが多く、今来ている子たちは「友だちと遊ぶことが大好き」なため、「いいどこ」を楽しみにしている。メインの場所がおじいちゃんおばあちゃんの家のリビングであり、子どもたちも夫妻のことが大好きなためリラックスしている。子どもたちも回を追うごとに慣れ、いろんな話をしてくれる。けんかや注意が必要なこともあるが、都度話をしている。

親御さんも「いいどこ」開催日は子と離れ、少しリフレッシュができ、運営メンバーや会場となる家の夫妻のことを頼ってくれている。口頭やLINEでその日あったことや写真などを共有している。

今年に入ってから学校等ともコミュニケーションが取れるようになり、活動の様子などを共有することもできている。完全に学校に行っていない子が行けている場所があり、子どものことも知れるということで学校からも好意的な言葉をもらっている。（共有の許可は本人たち

にとっている)

自宅を会場として使わせてくれている夫妻からも「毎回とても楽しい。子どもたちに見せてあげたいものもたくさんある」という言葉をもらっている。毎回、リビングやキッチンを使わせてもらい、寒いときは暖房もたくさん使わせてくれ、食品やクラフトの材料など多くのものを好意で提供してくれている。とても優しく包容力があり、子どもたちも親御さんも私たちもとても楽しい気分になる。宅老所が移転しもったいないと思っていたが、その家で「いいどこ」をでき、みんながあたたかい気持ちになれるのは夫妻のおかげである。

また、「いいどこ」を定期的にするようになり、コロナ前より活動頻度が著しく減っていた私たち「わくわくおたり」もできる範囲ではあるが活動全体のモチベーションも高まり、「いいどこ」を運営することが私たちの居場所や交わる機会にもなっている。

4 寄付者様へのご報告 (メッセージ)

「月と風の子ども基金」助成金をありがとうございました。コロナも明けて昨年改めて継続的な活動、そして団体が発足した当初より構想があった「世の中の日陰に入ってしまう部分のことを応援したい」という気持ちを、貴基金が後押ししてくれ、活動を軌道にのせることが叶いました。私たちは皆それぞれ自分の仕事をしながら、「それでも地域でできることってあるよね、とりあえずやってみよう」という気持ちで活動をしています。学校には行かずに、平日毎日家で過ごしている子どもたち、またその子を有する家庭からすると月に1回や2回行くところがあっても全然足りないことと思います。視察をしたところも常設の居場所でしたし、「月に1~2回の活動で意味があるのか？」などは実際に何人かから言われました。それでも、まず自分たちのやれることをやってみようと思ひ、1年が経ちますが、子どもたち、ご家庭、学校、地域の協力者など少しずつではあるけど関係を築くことができてきています。たまの頻度でやるものの在り方や効果のようなものも見えてきました。やり始めたからこそその課題もあり、すぐに良い答えがでないようなこともあります。でもこのことも、動き始めたからこそわかった、気づけたことです。子どもたちの人生はまだとても長く、輝かしいものです。その人生のほんのちょっとの部分ですが、寄り添い、彼らの子ども時代の経験に少しの彩りを添えられたらと思ひ、今後も活動をしていきたいと思ひます。本当にありがとうございました。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類 (添付書類)

- (1) 収支報告書 (様式第3-1号)
- (2) 収支報告書の証拠書類 (領収書の写し等)
- (3) 活動の実施風景写真 (外部公開可能なもの)
- (4) その他参考資料 (事業の経過や成果を証するもの)









みんなでおでかけ

いいとこ

6/8 土

休日も楽し
くすご
そう！

集合 10時

茶臼山動物園 北口駐車場

参加費 みんな無料
お昼 恐竜公園でお弁当

家族やお友達と、みんなで動物園
と恐竜公園で楽しもう！

運営 わくわくおたり

(まちづくりや居場所を2018年からやっています)

連絡先 wakuotari@gmail.com



「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2024年8月17日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 大町市 常盤 上-3491-1

団体名 上-福祉ネットワークの会

代表者職氏名 清水 健次



「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

月と風の子ども基金

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

夏の三世代交流会 参加者 170名
上-運動公園で・マスの掘みどり・七夕祭り
・公園までクリーン作戦(ゴミ拾い)
・ゲーム遊び(カーレット、ボッチ、スマイルボック)
・幼児向けに綿あめ、車輪投げ、風船つり
・食事会
※協力者による。マスの腹めだし、串さし、炭による焼き

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

子供達は日頃 駿けんできない、喜びを感じてとらった。
各協力団体、ボランティアの皆さんの支えにより、事業がなされた。
子供達とすることながら 協力者間のコミュニケーション、連帯がはかれたのが大きい。
以前、自治会内の事業だったが、上-全体に一つふみこむことができた。

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

マス掴みで、びは濡れになり、歓喜の声が河原にひびき、日頃得ることのない喜びを感じてもらった。
また、それを支える多くの皆さんの連帯、コミュニケーションが確認されたのは、上-福祉ネットワークの理念と寄進者の趣旨が一致したと思われ、寄進者に感謝申し上げます。ありがとうございました。
清水 健次

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

上一福祉ネットワークだより

毎日暑い日が続く今日この頃です。暑中お見舞い申し上げます。

先月行われた上一福祉ネットワークの「夏の三世代交流会」は各協力団体の皆様と子供たち、のべ170人の参加がありました。280匹のマス堀み・各ゲーム・食事等で日頃得難い喜びを感じ、地域のよりよい交流とコミュニケーションをつくることができました。

上一福祉ネットワークの会は区民の支え合い・福祉の向上・住みやすい地域を追求した、相互扶助のコミュニケーションづくりの場を、今後も自治会とタイアップしながら提供してまいります。

上一は大町市の中でも自治会加入率が低下していますが、このようなイベントで少しでも新規加入増につながることを願っています。

尚、ちびっこのわ（旧母親クラブ）の事業は、今年度より福祉ネットワークの会で事業展開をしていくこととなりました。



先般上一福祉ネットワークの会は、長野県の未来基金（月と風の子供基金）の助成を得ることとなりました。今後の福祉活動資金として活用してまいります。

今後も上一福祉ネットワークの理念に沿って歩んでまいります。区民の皆様のご支援とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2024 年 8 月 31 日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 北安曇郡池田町 552-1

団体名 ゆうきのもり

代表者職氏名 青山 典子



「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

月と風の子ども基金

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

森のフィールドで、かまど作り、キッチン作り、学舎づくり

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

不登校の子どもたちが森を整備したり、自分たちが使うカマドやキッチン、学舎を建築することで、仲間とひとつのことをやりとげた満足感、達成感を得ることができた。
また関わる人や場所に慣れたり友達と仲間意識を持つことで安心して過ごせる居場所だと感じることができた。

(様式第3号)

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

私たちはこれまで主に学校に行けない不登校の子どもたちの居場所作りに専念してきました。森のフィールドの整備が進むにつれて、より多くの子どもたちや地域の大人たちにも使っていただけるよう、プレーパークとして開かれた場所にするべく、20代30代を中心とした新たな仲間を募っています。

1年に満たない短い期間で子どもたちと一緒に、わずかながらの資金と有志で作上げた成果は大きかったと思います。学舎と予定していた家作りは、さらに多くの人の手で完成させたいと思います。今後どうぞ見守っていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）



























